

令和2年度（公財）千葉県消防協会事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

近年の自然災害は多様化・大規模化しており、東日本大震災以降も、地震、集中豪雨、台風、火山噴火、豪雪等による大規模な災害が多発し、全国各地に甚大な被害をもたらしています。昨年度は、令和2年7月豪雨では熊本県を中心に多数の死傷者が発生、令和3年2月には福島県沖を震源とする地震や栃木県足利市の林野火災など多くの災害が発生しました。また、自然災害以外では、令和2年1月に日本で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず、2度の緊急事態宣言が出るなど三密回避、人流抑制と社会生活全体に大きな変化が求められています。

こうした中で、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、当協会としても、平成25年に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図っていくため、平成2年度についても、消防組織の消防防災能力の向上に資する公益目的事業、消防職・団員の福利厚生及び弔意救済等の相互扶助事業などを実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度に千葉県消防学校で開催予定だった第27回全国消防操法大会や令和3年出初式をはじめ多くの行事が中止となりました。

I 公益目的事業

1 防災思想普及事業

災害等から生命、身体及び財産を守り被害を最小限に食い止めるため、各家庭・企業を問わず県民一人ひとりが常日頃から災害に対する関心を持ち、出火防止、初期消火、応急救護等の適切な活動が身につけられるよう、知識及び技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図った。

(1) 機関誌「消防千葉」の発行

広く地域住民の消防に対する理解と協力を得るとともに、消防防災思想のなお一層の普及を図るため機関誌「消防千葉」を年間5回発行し、市町村をはじめ関係機関等に配布した。

ア 市町村関係	20,000部
イ 官公署	1,875部
ウ 県内外各種団体・学校・図書館等	3,125部
計	25,000部

(2) 「千葉県消防操法」の発行・販売

消防職員及び消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、迅速、的確かつ実践的な基本訓練を展開し、火災防御に万全を期するため、教本（第5次改訂版）の販売を行った。

・令和2年度 販売数160冊

(3) 令和2年度千葉県消防関係定例表彰授与

消防職員及び消防団員の日頃からの献身的な活動や功績を称えるため、また、防災思想の普及啓発にも資することから、消防・防災に功労・功績のあった消防機関及び消防功労者に対し表彰授与を行うものである。

なお、表彰授与の場である千葉県消防大会（千葉県、千葉県少年婦人防火委員会及び当協会との共催）は、令和3年3月1日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

《 受 章 者 》

- ① 消防庁長官表彰
 - 功 勞 章 5 名
 - 永年勤続功労章 9 7 名
 - 救 急 功 労 者 1 名
- ② 千葉県知事表彰
 - 特 別 功 勞 章 1 5 名
 - 永年勤続功労章 6 0 名
 - 感 謝 状（配偶者功労） 3 8 名
 - 千葉県石油コンビナート等防災関係知事表彰 2 団体
 - 消防団協力事業所感謝状 5 団体
- ③ 日本消防協会会長表彰
 - 功 績 章 3 4 名
 - 精 績 章 8 2 名
 - 勤 続 章 2 0 8 名
- ④ 千葉県消防協会会長表彰
 - 特 別 功 勞 章 8 名
 - 永年勤続功労章 3 4 1 名
 - 感 謝 状（配偶者功労） 2 7 6 名
 - 功 績 章 3 3 名
- ⑤ 千葉県少年婦人防火委員会会長表彰
 - ・優良幼年消防クラブの部
 - 市原市：青葉台幼稚園幼年消防クラブ
 - ・優良少年消防クラブの部
 - 浦安市：浦安市少年消防団
 - ・優良婦人防火クラブの部
 - 富里市：南七栄婦人防火クラブ

(4) 全国火災予防運動の実施

総務省消防庁が提唱する全国火災予防運動を、千葉県とともに実施した。

秋季の全国火災予防運動では、消防（局）本部・千葉県少年婦人防火委員会の協賛により防火ポスター10,000枚を作成し、消防（局）本部、市町村等に配布した。

- ア 秋季全国火災予防運動期間 令和2年11月9日～11月15日
イ 春季全国火災予防運動期間 令和3年3月1日～3月7日

ウ 重点目標

- ・住宅防火対策の推進（秋季・春季）
- ・乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進（秋季・春季）
- ・放火火災防止対策の推進（秋季・春季）
- ・特定防火対象物等における防火安全対策の徹底（秋季・春季）
- ・製品火災の発生防止に向けた取組の推進（秋季・春季）
- ・多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底（秋季・春季）
- ・林野火災予防対策の推進（春季）

(5) 第41回九都県市合同防災訓練・千葉県会場の実施

大規模な地震災害を想定し、県や市、各防災機関が連携した救出救助訓練、更には、「自助」、「共助」、「公助」の相互のつながりを強化し、地域防災力の向上を目的に、第41回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）を、野田市において実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症蔓延の状況に鑑み、主会場の訓練を見送るなど、規模を縮小して実施した。

ア 実施日 令和2年10月27日（火）～11月1日（日）

イ 開催場所 野田市内ほか

ウ 参加機関 16機関

エ 参加人員 延べ186人

(6) 防災活動団体への助成支援

火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援した。

また、婦人消防等自主防災組織が実施する防火、防災活動を助長し、災害の減少及び被害の軽減等を図るため活動費を助成した。

ア 千葉県少年婦人防火委員会への支援

優良な幼年・少年消防クラブ及び婦人防火クラブを表彰するとともに、千葉県と共催で防火防災のポスターを募集（1, 145点応募）し、優秀作品を表彰するとともに記念品を贈呈した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、表彰式は中止となった。

イ 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会への支援

各消防機関が実施する防災思想の普及啓発活動等に協力した。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、研修会、各種会議は中止となった。

2 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職員及び消防団員による基礎的・専門的な知識と技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表並びに消防関係機関の協力・連携等を図った。

(1) 消防団員指導員研修の実施

昭和44年度から（公財）日本消防協会の受託事業として実施している研修で、令和2年度も千葉県消防学校へ指導協力を依頼し、組織活動を行う消防団員として必要な基礎的技術訓練及び火災防御・現場指揮の向上を図り、消防

団運営の活性化に資するため実施した。

ア 実施日 令和2年11月28日～29日

イ 開催場所 千葉県消防学校

ウ 研修者 29人

(2) 修学奨励金等の交付

消防職員及び消防団員の資質の向上を図るため、消防大学校及び千葉県消防学校への入校を奨励し、所定の課程を修了又は卒業した者、また日本消防協会の実施する所定の研修を修了した者に対して、千葉県消防協会修学奨励金等贈与規程に基づき修学奨励金等を交付した。

令和2年度 交付状況

修学課程		人員	修学奨励金等
消防大学校	消防団長科	2	修学奨励金
	各課	18	記念品
県消防学校	初任科	129	記念品
	専科	354	記念品
	消防団訓練	54	記念品
日本消防協会	消防団幹部特別研修及び 消防団幹部候補中央特別研修	リモート 2	なし
計		559	

(3) 第56回千葉県消防操法大会

令和2年7月11日に千葉県消防学校において開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、千葉県消防操法大会は中止となった。

(4) 第27回全国消防操法大会

令和2年10月16日に千葉県消防学校において開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国消防操法大会は中止となった。

(5) 第26回全国女性消防団員活性化徳島大会

令和2年11月20日に徳島県において開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国女性消防団員活性化徳島大会は中止となった。

(6) 令和2年度千葉県女性消防団員活性化シンポジウム

令和3年2月24日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、千葉県女性消防団員活性化シンポジウムは中止した。

(7) 諸会議の開催

消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため、諸会議を開催した。

ア 県下市町村消防長・消防団長会議の開催

当消防協会から事業計画、予算等の説明を行うとともに、千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校及び(公財)日本消防協会から当面する諸問題等について、意見交換等を行った。

会議終了後、「先進的な訓練事例と消防団活動」と題して、前埼玉県入間市消防団長の内村良一氏の講演会を開催した。

(ア) 開催日 令和2年11月12日

(イ) 開催場所 市原市市民会館

イ 地域振興事務所等との消防業務連絡会議

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止し、千葉県防災危機管理部、千葉県消防学校及び当消防協会から、諸事業及び連絡事項等を通知した。

3 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たしその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、消防殉職者慰霊祭を実施した。

(1) 第56回消防殉職者慰霊祭の実施

昭和4年3月「千葉県殉職消防組員警防団員の碑」として霊を祀って以来、合祀された殉職者の慰霊は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防(局)本部・消防団時代50柱、消防協力者6柱の96柱を数えるに至っている。

慰霊碑前で合同慰霊祭を執り行い、郷土防災の使命を果たしその職に殉じた御霊を慰め、併せて消防士気の高揚と防災思想の普及に努めた。

ア 主催 公益財団法人千葉県消防協会

イ 後援 千葉県・公益財団法人日本消防協会

ウ 実施日 令和2年10月29日(木)

エ 場所 千葉県消防学校屋内訓練場

オ 参加人員 146人

4 報償事業

消防士気の高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し、特別功労章、永年勤続功労章、功績章、功労章、精勤章等の表彰を行った。

(1) 市町村消防出初式での表彰

令和3年新春の出初式は、すべての市町村で新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

(2) 千葉県消防大会での表彰

受章者を表彰するため、令和3年3月1日に開催予定だった千葉県消防大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

・支部別受章者数一覧

	千葉	東葛飾	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	合計
日本消防協会長	42	126	53	9	14	24	10	13	11	22	324
功績章(一般)	4	7	6	2	2	3	2	2	2	3	33
功績章(女性)		1									1
精績章(一般)	10	16	13	6	5	8	4	5	6	7	80
精績章(女性)	1	1									2
勤続章	27	101	34	1	7	13	4	6	3	12	208

千葉県消防協会長		159	293	220	46	65	110	74	41	64	71	1,143
出初式		64	98	81	35	33	46	24	29	34	41	485
功 勞 章		16	24	21	9	8	11	6	7	8	10	120
精 勤 章		48	74	60	26	25	35	18	22	26	31	365
千葉県消防大会		95	195	139	11	32	64	50	12	30	30	658
特別功労章		1	2			1	1	1		1	1	8
永年勤続功労章		50	102	75	5	16	32	25	6	14	16	341
功 績 章		4	7	6	2	2	3	2	2	2	3	33
表彰状	個 人											
	団 体											
感謝状	配偶者	40	84	58	4	13	28	22	4	13	10	276
	全国操											
合計		201	419	273	55	79	134	84	54	75	93	1,467

5 支部活動事業

(1) 支部消防操法大会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、千葉県消防操法大会が中止となったことから、支部操法大会も中止となった。

(2) 支部長表彰及び消防防災知識の普及

消防活動に対する功労・功績と士気高揚のため、優秀な団員に対して支部長表彰を行った。

また、地域での研修や春・秋の全国火災予防運動において、消防防災知識の普及を図った。

II 収益等事業

1 消防団福祉共済事業

(1) 福祉共済制度への加入促進

(公財) 日本消防協会による全国の消防団員等の相互扶助による共済制度で、地域の安全・安心を担う消防団員等が安心して消防防災活動を行うことができるようにするための制度であることから、本制度への加入促進を図った。

本県では、42消防団の消防団員(22,435人)、消防職員4団体(406人)、自主防災隊3団体(29人)及び当消防協会(41人)が加入してい

る。

・令和2年度の交付実績

種 類	件 数	金 額
遺 族 援 護 金	7	6,935,500円
生 活 援 護 金		
障 害 見 舞 金	1	90,000円
入 院 見 舞 金	58	2,169,000円
合 計	66	9,194,500円

(2) 火災共済制度への加入促進

生活協同組合全日本消防人共済会による全国の消防職員、消防団員及び消防関係者等の加入者の不慮の災害による損害を補償するための共済制度であり、この制度への加入促進を図った。

・加入者 2,270人

(3) 婦人消防隊員等福祉共済制度への加入促進

(公財)日本消防協会による共済制度であり、婦人消防隊員等の福利厚生を図るため、平成4年度から実施しているもので、隊務以外の災害や疾病に対する保障も兼ね備えており、本県では3団体の婦人防火・消防クラブ員が加入している。

・令和2年度 共済金支給該当者なし

(4) 消防個人年金制度への加入促進

消防職員及び消防団員がゆとりある将来・安定した将来に備えるため、(公財)日本消防協会が実施する消防個人年金制度で、その加入促進を図った。

・加入者 89人

(5) 消防育英会による奨学金の給付

(公財)消防育英会が実施する奨学金制度で、消防職員及び消防団員が殉職又は公務上身体に障害が残った場合及び県民が消防の職務に協力援助し同様の被災をした場合、殉職者等の子弟に対し奨学金等を給付する制度である。

・令和2年度 該当者なし

(6) 福祉増進事業助成

消防団員の健康増進等に資するため(公財)日本消防協会の消防団員等福祉共済制度による助成を受け、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成した。

ア 健康器具等の購入配布

48消防団(1消防団27,000円以内)

イ スポーツ行事助成

1消防団(1消防団50,000円)

(7) 傷病見舞金の贈呈

弔慰救済金給付規程に基づき職務のため傷病を受けた者等に対し、次の

とおり見舞金等を贈呈した。

・傷病見舞金 4人 90,000円

2 退職者報償事業

表彰規程に基づき、退団された会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、次のとおり金盃・感謝状を贈呈した。

・令和2年度の交付状況 (単位：人)

支部名	人数	支部名	人数
千葉	52	長生	48
東葛飾	89	夷隅	—
印旛	19	安房	5
香取	115	君津	29
海匝	40	協会	16
山武	—	計	413

3 施設貸与事業

千葉県消防会館の空き室について、利用がなかった。

III 法人活動事業

1 諸会議への出席

千葉県や（公財）日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行った。

- ・九都県市合同防災訓練全体会議 令和2年 6月29日 野田市
- ・全国消防殉職者慰霊祭 令和2年 9月17日 日本消防会館
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和2年12月24日 消防庁
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和3年 2月 9日 リモート
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和3年 3月12日 リモート
- ・消防団員の処遇等に関する検討会 令和3年 3月29日 リモート

2 理事会、評議員会等の開催

○ 令和2年5月19日

監事会 開催場所 千葉県消防学校
審査事項 ・令和元年度事業報告、収支決算
出席等 監事全員 4名

○ 令和2年5月29日

定時理事会 書面決議
決議事項 ・令和元年度事業報告、収支決算の承認
・評議員会の書面評決
同意 理事全員 17名
異議なし 監事全員 4名

- 令和2年6月16日
 定時評議員会 書面決議
 決議事項 ・令和元年度事業報告、収支決算の承認
 ・評議員並びに理事、監事及び支部長の選任
 同 意 評議員全員 20名
- 令和2年6月16日
 臨時理事会 開催場所 ポートプラザちば
 決議事項 ・会長、副会長、専務、常務の選定
 顧問の推薦
 出席等 理事17名、監事4名
- 令和3年3月17日
 定時理事会 書面決議
 決議事項 ・令和2年度収支補正予算の承認
 ・令和3年度事業計画の承認
 ・令和3年度収支予算、資金調達等書類の承認
 ・人事服務規程、役員報酬等支給規程、
 職員給与規程、財務規程の改正
 ・会館建設改良積立特定資産取扱規程の改正
 ・専務理事の選定
 ・評議員会の書面評決
 報告事項 ・職務執行状況、令和3年度主要行事予定
 同 意 理事全員 19名
 異議なし 監事全員 4名
- 令和3年3月29日
 臨時評議員会 書面決議
 決議事項 ・令和2年度収支補正予算の承認
 ・令和3年度事業計画の承認
 ・令和3年度収支予算、資金調達等書類の承認
 ・役員報酬等支給規程、会館建設改良積立
 特定資産取扱規程の改正
 ・理事の選任
 同 意 評議員全員 20名

事業報告附属明細書

令和2年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月

公益財団法人千葉県消防協会

事業報告附属明細書

令和2年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月

公益財団法人千葉県消防協会

令和2年度公益財団法人千葉県消防協会決算に関する書類

(1) 貸借対照表

令和3年3月31日現在

科	目	当年度	前年度	増減
		円	円	円
I	資産の部			
1.	流動資産			
	現金預金	26,047,731	16,737,647	9,310,084
	現金	0	0	0
	普通預金	26,047,731	16,737,647	9,310,084
	棚卸資産	1,276,052	1,364,180	△ 88,128
	流動資産合計	27,323,783	18,101,827	9,221,956
2.	固定資産			
	(1) 基本財産			
	投資有価証券	108,670,645	108,670,645	0
	定期預金	429,355	429,355	0
	基本財産合計	109,100,000	109,100,000	0
	(2) 特定資産			
	弔慰引当資産	9,458,256	9,158,256	300,000
	会館準備積立資産	24,176,401	24,176,401	0
	特定資産合計	33,634,657	33,334,657	300,000
	(3) その他固定資産			
	建物	7,702,461	8,072,973	△ 370,512
	工作物	340,000	340,000	0
	車両運搬具	139,500	139,500	0
	その他固定資産合計	8,181,961	8,552,473	△ 370,512
	固定資産合計	150,916,618	150,987,130	△ 70,512
	資産合計	178,240,401	169,088,957	9,151,444
II	負債の部			
1.	流動負債			
	(1) 未払金	208,175	301,088	△ 92,913
	(2) 預り金	2,113,523	60,242	2,053,281
	(3) 賞与引当金	1,068,000	1,200,000	△ 132,000
	流動負債合計	3,389,698	1,561,330	1,828,368
2.	固定負債			
	固定負債合計	0	0	0
	負債合計	3,389,698	1,561,330	1,828,368
III	正味財産の部			
1.	指定正味財産	0	0	0
	指定正味財産合計	0	0	0
	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2.	一般正味財産	174,850,703	167,527,627	7,323,076
	(うち基本財産への充当額)	109,100,000	109,100,000	0
	(うち特定資産への充当額)	33,634,657	33,334,657	300,000
	正味財産合計	174,850,703	167,527,627	7,323,076
	負債及び正味財産合計	178,240,401	169,088,957	9,151,444

(2) 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	656,803	656,193	610
基本財産受取利息	656,803	656,193	610
② 受取会費	270,000	270,000	0
準会員受取会費	270,000	270,000	0
③ 受取補助金等	33,266,930	38,063,492	△ 4,796,562
受取地方公共団体補助金	23,800,000	28,000,000	△ 4,200,000
受取日本消防協会補助金	5,513,598	5,958,650	△ 445,052
受取福祉共済事業補助金	3,953,332	4,104,842	△ 151,510
④ 事業収益	640,000	1,938,000	△ 1,298,000
機関誌広告料収益	320,000	440,000	△ 120,000
消防操法販売収益	320,000	1,498,000	△ 1,178,000
⑤ 受取負担金	18,803,750	22,727,710	△ 3,923,960
受取市町村負担金	13,111,000	12,967,000	144,000
受取支部事業負担金	5,577,360	9,645,320	△ 4,067,960
受取消防人共済会負担金	115,390	115,390	0
⑥ 雑収益	98,800	2,568,940	△ 2,470,140
雑収益	96,746	2,568,880	△ 2,472,134
支部雑収益	2,054	60	1,994
経常収益計	53,736,283	66,224,335	△ 12,488,052
(2) 経常費用			
① 事業費	39,263,389	58,911,172	△ 19,647,783
役員報酬	8,243,009	9,028,170	△ 785,161
給料手当	12,584,594	11,603,895	980,699
福利厚生費	3,305,069	2,799,477	505,592
賞与引当金繰入額	1,025,280	1,156,000	△ 130,720
会議費	530,977	987,769	△ 456,792
旅費交通費	140,083	628,689	△ 488,606
通信運搬費	608,460	974,266	△ 365,806
減価償却費	327,533	343,827	△ 16,294
消耗什器備品費	252,670	202,400	50,270
消耗品費	3,393,207	6,458,998	△ 3,065,791
修繕費	0	356,230	△ 356,230
印刷製本費	1,602,810	2,435,946	△ 833,136

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
燃料費	93,202	144,967	△ 51,765
光熱水費	0	538,176	△ 538,176
借損料	53,465	3,707,219	△ 3,653,754
諸謝金	50,000	100,000	△ 50,000
退職者報償費	1,687,950	1,076,590	611,360
支払助成金	538,199	7,282,434	△ 6,744,235
福祉増進事業助成金	1,520,960	1,764,025	△ 243,065
修学奨励費	782,200	752,840	29,360
図書費	19,763	9,432	10,331
葬祭費	466,849	882,165	△ 415,316
定例表彰費	878,722	870,578	8,144
殉職者弔慰金	0	0	0
傷病見舞金	90,000	230,000	△ 140,000
災害見舞金	0	2,550,000	△ 2,550,000
報償費	905,259	1,614,530	△ 709,271
商品仕入額	163,128	412,549	△ 249,421
② 管理費	7,149,818	8,590,603	△ 1,440,785
役員報酬	152,785	250,000	△ 97,215
給料手当	153,539	200,000	△ 46,461
福利厚生費	351,699	855,546	△ 503,847
賞与引当金繰入額	42,720	44,000	△ 1,280
会議費	40,640	61,252	△ 20,612
旅費交通費	2,680	107,790	△ 105,110
通信運搬費	470,254	318,298	151,956
減価償却費	42,979	45,118	△ 2,139
消耗什器備品費	57,940	391,244	△ 333,304
消耗品費	1,006,345	1,966,271	△ 959,926
印刷製本費	26,950	0	26,950
光熱水費	488,702	0	488,702
貸借料	476,213	475,847	366
借損料	1,221,895	1,237,980	△ 16,085
災害保険料	62,930	63,380	△ 450
諸謝金	380,000	330,200	49,800
租税公課	380,500	248,350	132,150
手数料	248,932	343,983	△ 95,051
負担金	828,100	1,063,962	△ 235,862
委託料	524,397	383,460	140,937
交際費	189,618	203,922	△ 14,304
経常費用計	46,413,207	67,501,775	△ 21,088,568

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
評価損益等調整前経常増減額	7,323,076	△ 1,277,440	8,600,516
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,323,076	△ 1,277,440	8,600,516
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度修正益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正損			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	7,323,076	△ 1,277,440	8,600,516
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,323,076	△ 1,277,440	8,600,516
一般正味財産期首残高	167,527,627	168,805,067	△ 1,277,440
一般正味財産期末残高	174,850,703	167,527,627	7,323,076
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	174,850,703	167,527,627	7,323,076

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業会計			法人会計	合計
	公 1	小 計	収 1	他 1	小 計		
			施設貸与事業	消防職・団員を対象とした消防互助事業及び各種共済事業			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益							
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	656,803	656,803
② 受取会費							
準会員受取会費	270,000	270,000	0	0	0	0	270,000
③ 受取補助金等							
受取地方公共団体補助金	23,800,000	23,800,000	0	0	0	0	23,800,000
受取日本消防協会補助金	356,858	356,858	0	5,156,740	5,156,740	0	5,513,598
受取福祉共済事業補助金	0	0	0	46,182	46,182	3,907,150	3,953,332
④ 事業収益							
機関誌広告料収益	320,000	320,000	0	0	0	0	320,000
消防操法販売収益	320,000	320,000			0	0	320,000
賃貸料	0	0		0	0	0	0
その他事業収益	0	0			0	0	0
⑤ 受取負担金							
受取市町村負担金	7,236,000	7,236,000		2,195,000	2,195,000	3,680,000	13,111,000
受取支部事業負担金	5,577,360	5,577,360	0	0	0	0	5,577,360
受取消防人共済会負担金		0	0	0	0	115,390	115,390
⑥ 雑収益							
雑収益	90	90	0	0	0	96,656	96,746
支部雑収益	2,054	2,054	0	0	0	0	2,054
経常収益計	37,882,362	37,882,362	0	7,397,922	7,397,922	8,455,999	53,736,283
(2) 経常費用							
① 事業費							
役員報酬	8,211,638	8,211,638	0	31,371	31,371		8,243,009
給料手当	12,546,209	12,546,209	0	38,385	38,385		12,584,594
福利厚生費	3,305,069	3,305,069	0	0	0		3,305,069
賞与引当金繰入額	1,025,280	1,025,280	0	0	0		1,025,280
会議費	530,977	530,977	0	0	0		530,977
旅費交通費	140,083	140,083	0	0	0		140,083
通信運搬費	608,460	608,460	0	0	0		608,460
減価償却費	45,202	45,202	278,625	3,706	282,331		327,533
消耗什器備品費	252,670	252,670	0	0	0		252,670
消耗品費	3,393,207	3,393,207		0	0		3,393,207
修繕費	0	0		0	0		0
印刷製本費	1,602,810	1,602,810	0	0	0		1,602,810
燃料費	93,202	93,202		0	0		93,202
光熱水費	0	0		0	0		0
借損料	53,465	53,465	0	0	0		53,465
諸謝金	50,000	50,000	0	0	0		50,000
退職者報償費	0	0	0	1,687,950	1,687,950		1,687,950
支払助成金	538,199	538,199	0	0	0		538,199
福祉増進事業助成金	0	0	0	1,520,960	1,520,960		1,520,960
修学奨励費	782,200	782,200	0	0	0		782,200
図書費	19,763	19,763	0	0	0		19,763
葬祭費	466,849	466,849	0	0	0		466,849
定例表彰費	878,722	878,722	0	0	0		878,722
傷病見舞金	0	0	0	90,000	90,000		90,000
災害見舞金	0	0	0	0	0		0
雑費	0	0	0	0	0		0

(3) 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	普通預金(本部)	千葉銀行 県庁支店	事業活動資金として	19,362,763
	普通預金(千葉支部)	千葉銀行 県庁支店	支部事業活動資金として	1,576,081
	普通預金(東葛飾支部)	千葉銀行 松戸市役所出張所	支部事業活動資金として	1,909,886
	普通預金(印旛支部)	千葉銀行 佐倉支店	支部事業活動資金として	230,208
	普通預金(香取支部)	千葉銀行 佐原支店	支部事業活動資金として	693,160
	普通預金(海匝支部)	千葉銀行 旭支店	支部事業活動資金として	207,194
	普通預金(山武支部)	千葉銀行 東金支店	支部事業活動資金として	152,992
	普通預金(長生支部)	千葉銀行 茂原支店	支部事業活動資金として	296,618
	普通預金(夷隅支部)	千葉銀行 大多喜支店	支部事業活動資金として	930,885
	普通預金(安房支部)	千葉銀行 館山支店	支部事業活動資金として	316,816
	普通預金(君津支部)	君津信用組合 本店	支部事業活動資金として	371,128
	普通預金(本部)	千葉銀行 松ヶ丘支店	図書斡旋販売受入口座として	0
	普通預金(本部)	千葉銀行 松ヶ丘支店	冊子・記章斡旋口座として	0
	普通預金(本部)	千葉銀行 松ヶ丘支店	日本消防協会斡旋口座として	0
	棚卸資産		操法解説書、タイピン等の在庫	1,276,052
	流動資産合計			27,323,783
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	千葉県債・千葉市債	管理運営財産であり、運用益を法人会計の財源にしている。	108,670,645
	定期預金	千葉銀行 県庁支店	管理運営財産であり、運用益を法人会計の財源にしている。 (基本財産計)	429,355
特定資産	弔慰引当資産	千葉銀行 松ヶ丘支店	殉職者の弔慰金積立資産である。	109,100,000
	会館準備積立資産	三井住友信託銀行 千葉支店	消防会館修繕等準備預金 (特定資産計)	24,176,401
その他 固定資産	建物	千葉県消防会館 千葉市中央区仁戸名町666-2	共用財産として管理している。 公益目的保有財産：12.2% 収益事業等その他の業務の用に供する財産：87.8%	33,634,657
	工作物	自家用受変電設備 千葉市中央区仁戸名町666-2	共用財産として管理している。 公益目的保有財産：60.0% 収益事業等その他の業務の用に供する財産：40.0%	7,702,461
	車両運搬具	トヨタマークII 1台	共用財産として管理している。 公益目的保有財産：60.0% 収益事業等その他の業務の用に供する財産：40.0% (その他固定資産計)	340,000
	固定資産合計			139,500
	資産合計			8,181,961
(流動負債)				
	未払金	会計システム使用料金等に対する未払金	公益目的事業、法人事業等における未払費用 (未払金計)	208,175
	預り金	社会保険、労働保険預り金	全国大会開催負担金、社会保険・雇用保険預り金 (預り金計)	208,175
	賞与引当金		夏季賞与に対する12～3月分の引当金 (賞与引当金計)	2,113,523
	流動負債合計			2,113,523
(固定負債)				
	固定負債合計			1,068,000
	負債合計			1,068,000
	正味財産			3,389,698
	資産合計			3,389,698
	負債合計			0
	正味財産			174,850,703

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 平成24年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性に乏しいため、償却原価法は採用していない。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金：
役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) 棚卸資産の評価方法
棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	108,670,645	0	0	108,670,645
定期預金	429,355	0	0	429,355
小 計	109,100,000	0	0	109,100,000
特定資産				
弔慰引当資産	9,158,256	300,000	0	9,458,256
会館準備積立資産	24,176,401	0	0	24,176,401
小 計	33,334,657	300,000	0	33,634,657
合 計	142,434,657	300,000	0	142,734,657

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	108,670,645	(0)	(108,670,645)	(0)
定期預金	429,355	(0)	(429,355)	(0)
小 計	109,100,000	(0)	(109,100,000)	(0)
特定資産				
弔慰引当資産	9,458,256	(0)	(9,458,256)	(0)
会館準備積立資産	24,176,401	(0)	(24,176,401)	(0)
小 計	33,634,657	(0)	(33,634,657)	(0)
合 計	142,734,657	(0)	(142,734,657)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	50,187,545	42,485,084	7,702,461
工作物	6,800,000	6,460,000	340,000
車両運搬具	2,790,000	2,650,500	139,500
合 計	59,777,545	51,595,584	8,181,961

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
千葉県債	46,976,500	47,733,200	756,700
千葉県債	31,694,145	32,328,345	634,200
千葉市債	30,000,000	30,309,000	309,000
合計	108,670,645	110,370,545	1,699,900

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	千葉県	0	23,800,000	23,800,000	0	—
日本消防協会補助金	公財) 日本消防協会	0	5,513,598	5,513,598	0	—
福祉共済事業補助金	公財) 日本消防協会	0	3,953,332	3,953,332	0	—
合計	計	0	33,266,930	33,266,930	0	

7. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,200,000	1,068,000	1,200,000	0	1,068,000
合計	1,200,000	1,068,000	1,200,000	0	1,068,000

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。